

何も考えず管理者の指示に従え！

乗務中に軽微な事象があり、終了点呼でそのことを報告すると交告助役より日報を書くように言われた。知っていることは全て話したことを伝え勤務は終了した。翌々日、勤務終了時に多数の管理者に、日報を書くように強要された。理由を伝えると日勤で教育を行うと通告された。こんな事が職場であったそうである。

日勤教育の中では、

「管理者が日報を提出するように指示したことに従わなかったことは非違行為に当たるから、その時の管理者とのやりとりを時系列等報告書に書いて提出するように」

「管理者が指示していることに対して、理由を付けて従わなかったら示し**がつかない**」と言われたそうである。

管理者の指示は絶対なのか？

頭を下げろと言われれば下げなくてはならないのか？

管理者に話をすると日勤で時系列を書かなければいけないのか？

どこまでエスカレートする強権的な社員管理

まさに強権的で、前近代的なやり方だ。どこに民主主義があるのだろうか。報告の内容より日報を書かせることのみが自分の管理能力と勘違いしている助役。彼は上部から言われたことを黙って従うことが出世のために大切と思っている。だから、部下にも同じことを強要するのだ。

自らの保身のみで人権を蹂躪していることにも気づかない哀れな管理者。自分では何一つ判断できずJネットに操られる管理者。黙って言うことを聞く社員を作ることが社員管理と考えている神経は正常ではない。

『示しを付ける』ための乗務降ろしは「みせしめ」ではないのか。時系列等報告書の提出強要をする会社のやり方を絶対に認めない。私たちは、働く者がプライドを持って働ける職場をつくるために闘う。